



下町の人情の厚い町で、  
“ここに来てよかった”と  
実感できる医療の提供を

## 池上晴彦 院長

Haruhiko Ikegami

### 池上内科循環器クリニック

循環器内科  
内科

#### Profile

幼少期に転落事故で生死をさまよった経験から、助けていただいた恩返しがしたいと医学の道へ。筑波大学卒業後、心臓・循環器の専門医として東京女子医科大学病院などで診療を行い、ここ数年は太田総合病院や虎の門病院で睡眠障害の診療にも携わってきた。休日は子供達とテニスを楽しんだり、映画やDVDを観て過ごす。大切な日には長女からのプレゼントのネクタイを締め気合を入れる。

#### 来院者の声

すっかり睡眠をとっているつもりでしたが、寝不足感がとれず体調がすぐれませんでした。SAS(睡眠時無呼吸症候群)を疑われ治療をしてもらったところ、今ではすっかり、深い眠りにつくことができるようになりました。 <30代/男性>

どんな治療をしているのか、検査結果、先生のアドバイスがひと目でわかる「私の診察録」は、とてもありがたく思っています。治療のたびにいただけるので、過去の治療歴がひと目でわかり、とても助かっています。 <40代/女性>

**下**町の風情を残す桜新町のサザエさん通り商店街に、2008年12月に開業した『池上内科循環器クリニック』。「この町に暮らす方たちとの触れ合いが楽しい」と、院長の池上晴彦先生が笑顔で話す言葉から、開業して間もないが、早くもこの町に溶け込んでいる様子が伺える。

そんな池上先生が目指すのは、「ここに来てよかった」と思える医療の提供だという。「何を求めて来院していただきたいのかをつかみ、患者さんが満足してもらえる医療を提供できるよつに心がけています」

同じ病気で、徹底的な検査を求める患者もいれば、痛みさえなくなれば余計な検査は不要だと考える患者もいる。そのニーズを正しく把握することも医師のスキルの一つだと考える。そのために診療では患者の話にしっかりと耳を傾けることを心がけている。

患者が診療を終えると、A4サイズの『私の診療録』を渡す。その日の診療内容や検査データに加え、アドバイスなどもつけ加えられている。患者に自身の健康状態の理解を深める

小学生の娘さんがデザインしたクリニックのロゴマーク。「大人から子供まで広く診療します」というメッセージが込められている



白と茶を基調にした、落ち着いたモダンな待合室。あたたかな日差しがたっぷり入り、リラックスさせてくれる

手助けになるだろうとはじめた私の診療録は、カルテと同様、来院のたびに記録を重ねる。診療歴が一目でわかると患者からも好評だ。

池上先生は、SAS(睡眠時無呼吸症候群)の治療にも早い時期から取り組んでいる。とくにSASは、心臓発作や脳卒中の引き金になると同時に、それらの原因となる生活習慣病との関連が強いため、その意味においてもSASに対する治療の価値は高いとつづだ。

#### Data



さらによくわしく



電話 03-5426-6550  
所在地 世田谷区桜新町1-11-5 HANAKIKUビル1F  
駐車場 無  
休診日 日・祝  
map P160 B-2

診療時間	mon	tue	wed	thu	fri	sat	sun
9:00~12:30	●	●	●	▲	●	▲	
15:30~19:00	●	●	●				
※▲木曜9:00~12:30							
※▲土曜9:00~12:00・14:00~17:00							